

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ <http://www.csj.jp/kaimu/index.html> をご参照下さい。

財団法人日本食品化学研究振興財団 平成22年度(後期)シンポジウム等 開催助成募集のお知らせ

当財団は、食品添加物の安全性等食品化学に関するシンポジウム等開催に対し、下記により助成募集を行います。助成対象：平成22年10月1日～平成23年3月31日までの間に

開催される食品化学に関するシンポジウム等。助成総額：100万円程度。応募資格：大学、研究機関等において研究活動等に従事している者。募集期間：平成22年7月1日(木)～31日(土)必着。申請用紙の請求申請用紙及び募集要項の請求は、E-mailにて行うこと。561-0828 豊中市三和町1-1-11 (財)日本食品

化学研究振興財団 電話(06)6333-5680 FAX(06)6333-5491 E-mail: admin@fcr.or.jp

分子科学研究所特別奨学生募集

分子科学研究所では、総合研究大学院大学(構造分子科学専攻、機能分子科学専攻)に入学する優秀な学生に対し、奨学金を支給し修学を援助します。支給金額：年額約250万円(税込、RA雇用含む)、返済義務なし。申請資格：博士後期課程に入学する者。選抜試験：平成22年8月30日(月)、31日(火)。選抜方法：書類選考と面接。申請書：申請書を分子研のHPからダウンロードして下さい。申込先・問合先：444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38番地 自然科学研究機構国際研究協力課大学院係 電話(0564)55-7139 E-mail: r7139@orion.ac.jp 詳細は分子研HP (<http://www.ims.ac.jp/>) をご覧下さい。

第24回日本IBM科学賞

対象等：受賞候補者資格は次のとおり。1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その活動分野が次の領域に該当する研究者。国籍は問わない。(1) 物理、(2) 化学、(3) コンピューター・サイエンス(バイオインフォマティクスを含む)、(4) エレクトロニクス(バイオエレクトロニクスを含む)。2) 平成22年8月13日現在で満45歳以下であること。内容/件：受賞は4件。各分野1件1名。賞金・副賞として300万円(1件)・メダル。応募等：応募は国内の大学あるいは公的研究機関に所属する研究者からの推薦による。リンク先：<http://www.ibm.com/jp/company/society/science/index.html> 応募に関するお問い合わせ：日本IBM科学賞事務局 電話(03)5644-2913 FAX(03)3664-4920 E-mail: science@jp.ibm.com/

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限りません。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 掲載は1回に限りません。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご掲載下さい。

②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい(英文は和文の0.55字で換算)。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として最新号を公開しております。<http://www.csj.jp/journals/kakou/> をご覧下さい。

③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 掲載月以降の掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。例) 3月26日～4月25日までに投稿した原稿→6月号(6月1日発行)に掲載。

④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿はURL：[\(http://mailform.csj.jp/keijiban/\)](http://mailform.csj.jp/keijiban/) に専用投稿フォーマットがありますので、必ずそれを使用して原稿を作成して下さい。
- ② 専用フォーマット使用方法
A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ：アガ外、記号(約物)：、。(・/ 等)
- ・ローマ数字：I II III IV、丸数字：①②③④

【使用可能な文字例】

- ・全角カナ、全角記号、アルファベットのI、V、X、Yを組み合わせてローマ数字を表現。

- ・文字の代わりに(1)(2)の表記を使用。
- ・組文字は全角(株)(有)mmでの表記にする。
- C) テキスト上で表現できない文字(外字、作字)については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し、受理メール(受付番号付)をプリント出力して●印の指示を行いFAXにて編集部宛送って下さい。その際、投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定(上付き、下付き、イタリック体)を希望の場合は、タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】・上付： $P^{2+} \rightarrow P < SUP > 2 + < /SUP >$

・下付： $CO_2 \rightarrow CO < SUB > 2 < /SUB >$

・イタリック：*italic* → $< I > italic < /I >$

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。
- ④ 電子投稿が完了しましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合がありますので、必ず受理通知をご確認下さい。
- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 当月25日まで：URLフォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、FAXにて編集部宛その旨をご通知下さい。
- ② 26日以降の場合は原則として訂正は不可となります。

⑥問合先・修正用FAX送信先

日本化学会編集部「化学と工業」誌担当宛
FAX(03)3292-6319